

小学校 生活科学習指導案

廿日市市立廿日市小学校 本田 祥子(T 1)
北川 千幸(T 2)

1 対象学年 第1学年 40名

2 単元名 おてつだいバリバリレンジャー

3 単元構想の着眼点

・本学年の児童は、生活科の学習が大好きである。これまでも春の公園探検やサツマイモの苗植えなど、地域の自然や施設を利用したり、地域のお年寄りとの交流を経験したりしてきている。このような生活科の学習後も、近所の公園に友だちと一緒に遊びに行ったり、お年寄りに会うと話しかけていったりするなど、自分の住んでいる身近な地域へ目を向けるきっかけになっているように思える。

しかし、学校内での様子を見てみると、掃除や給食当番では、自分から積極的にきばきと仕事をする児童も、家では何も仕事をしない、させてもらえないといった実態があり、保護者からは、「後始末が大変。」「子どもに頼んでもやってくれない。」という声が聞かれる。したがって、児童は、実践する前から自分にはできない、する必要がないと感じている姿と保護者の声がつながっている。

・このような児童の実態を受けて、本単元では、地域の中でも一番身近な家庭や家族に目を向けさせ、家族の一員として家庭の中でもできる役割に気付かせることをねらいとしている。

児童が、夏休みに体験した家庭での仕事を振り返ったり、その他の仕事を想起したりしながら、家庭の仕事に興味・関心を抱かせたいと考える。そして、実際に家庭で体験した仕事のやり方やコツを学校で発表したり、いろいろな仕事を体験したりする中で、児童の内面に「自分も家族のために役に立つことができる」という気持ちが芽生えることも期待できるであろうと考える。

・指導にあたっては、仕事別のコースに分かれ、家庭でしてきた仕事のやり方や順序、難しかったことやうまくいったことなどを発表するなどして、学習への興味・関心を高め、自分がしてみたい仕事を選ばせていきたい。

また、教師は、児童の活動を見守りながら、工夫している点やがんばりを評価し、仕事に対して自信をもって臨めるように支援していきたい。そのためにもチーム・ティーチングなどの方法を工夫し、個に応じた支援を考えていきたい。

さらに、この学習のねらいを家庭に知らせ、理解と協力を呼びかけた上で、単元の最後には、家族からのありがとうのメッセージを伝え、家庭の中で役に立つ喜びを感じさせたい。そして、この学習を一つの機会として、自分から進んで仕事をするこことやいつも仕事をしてきている家族の思いに共感できる心を育てたい。

4 単元のねらい

- 関心・意欲・態度**
- 家の仕事に関心をもち、進んで調べようとする。
 - 自分にできる仕事を見つけ、やってみようとする。
 - 友だちから教えてもらったコツを生かして家庭でやってみようとする。

- 思考・表現**
- 実物などを使いながら人に分かりやすい発表をすることができる。
 - 自分のがんばったことを、自分なりにまとめ表現することができる。
 - 調べたことを生かして上手にできる方法を考え、体験コースの仕事をするすることができる。

- 気付き**
- 友だちのよさに気付き、自分でもやってみようとする。
 - 家庭での自分の役割や家族がやっている家庭の仕事の大切さに気付き、助け合っていることが分かる。

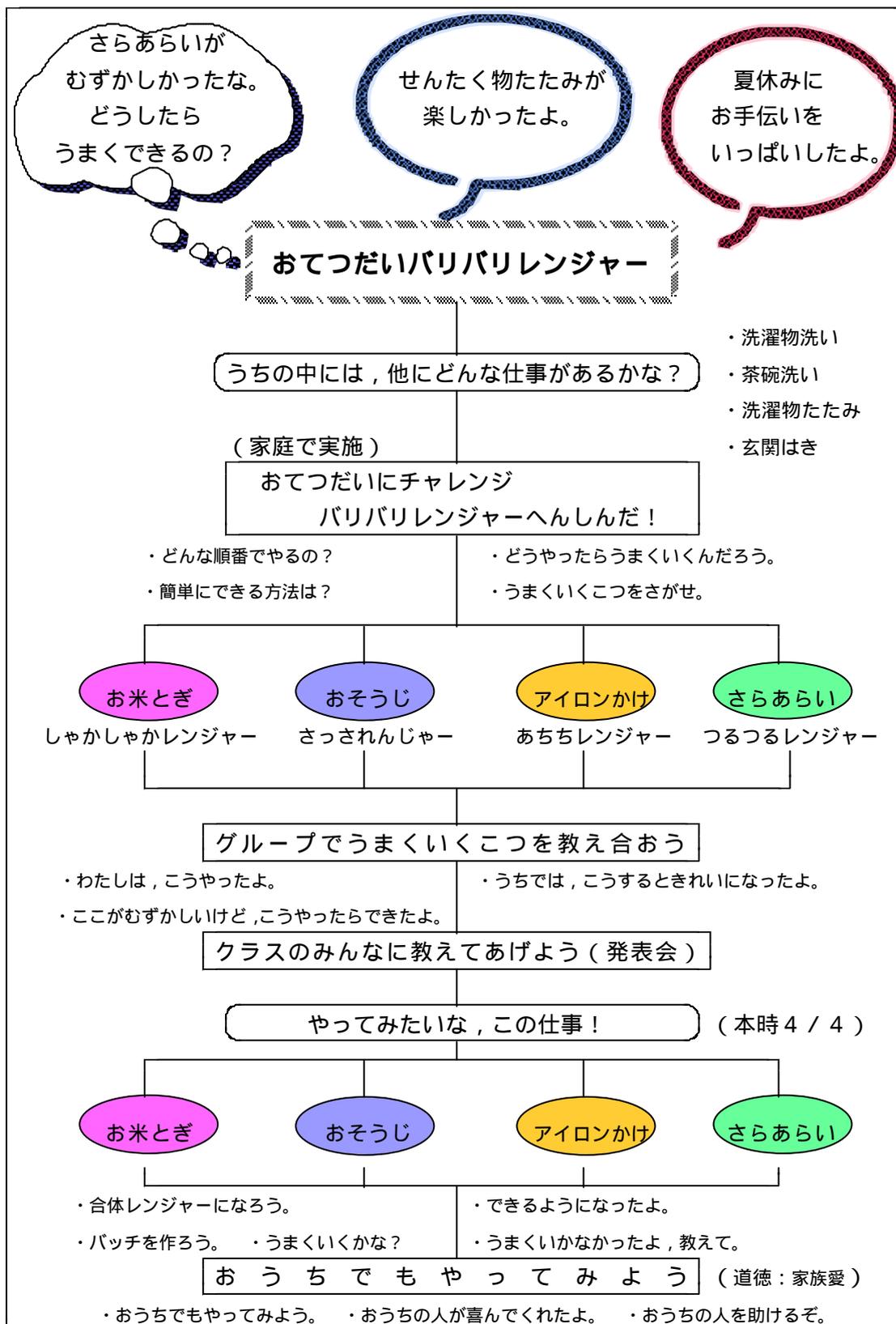
5 この単元に必要な基本的・基礎的な力

- 経験したことを分かりやすく話す。
- 正しく聞く。
- 自分のしたことを絵に表す。
- 見たり、聞いたり、感じたりしたことを短い文に書く。
- 自分のよさや友だちのよさを見つける。

6 指導計画（全11時間）

第1次	バリバリレンジャーにへんしんだ！ ・うちの仕事調べ ・お手伝いチャレンジ	3時間
第2次	みんなに教えてあげよう ・交流会 ・発表会	3時間
第3次	仕事体験をしよう	4時間
第4次	おうちでもやってみよう	1時間

7 単元構想図 (全11時間)



8 本時の学習

(1) 本時のねらい

- 自分が調べた上手にできる方法やコツを友だちに分かりやすく教えることができる。
- 友だちに教わったやり方やコツを、自分でも意欲的にやってみることができる。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	評 価	主 な 支 援	
		T 1	T 2
<p>1 本時のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>〇〇レンジャーに チャレンジ (変身しよう)</p> </div>	<p>・〇〇レンジャーになろう、この仕事がうまくできるようになろうという意欲がもてたか。 関・意・態</p>	<p>・本時のめあてを確認し、意欲を高めるような言葉掛けをする。</p>	<p>・活動への意欲が持続するように言葉掛けをする。</p>
<p>2 自分が体験したいコーナーに行って、実際に仕事をする。 (グループで移動する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米とぎレンジャーコース ・おそうじレンジャーコース ・アイロンレンジャーコース ・さらあらいレンジャーコース <p>仕事が終わったら、そのコースのバリバリレンジャーは、グループの友だちのバッジにシールを貼る。</p>	<p>・意欲的に仕事に挑戦しているか。 関・意・態</p> <p>・自分が調べて考えた上手にできる方法を友だちに分かりやすく教えているか。 思・表</p> <p>・友だちのやり方のよさに気付き、それぞれの体験コースの仕事をやってみようとしているか。 気付き</p>	<p>・米とぎ、さらあらいを中心に支援する。</p> <p>・仕事がうまくいかない児童にコツを教えてもらうように促す。</p> <p>・意欲的に仕事をしている児童を賞賛する。</p>	<p>・アイロン、おそうじを中心に支援する。</p> <p>・アイロンが安全に使えるように配慮する。</p> <p>・各コースの活動場所に仕事の順序や仕事のコツを書いた模造紙を張っておく。</p> <p>・意欲的に仕事をしている児童を賞賛する。</p>
<p>3 片付けレンジャーごとに行う。</p>	<p>・体験した感想を自分なりに表現しようとしているか。 思・表</p>	<p>・発表で児童の思いが引き出せるようにする。</p>	<p>・児童のがんばっていたところやよさを取り上げ、認める。</p>
<p>4 体験した感想を発表する。</p>	<p>・家に帰ってもやってみようとする気持ちがもてたか。 関・意・態</p>	<p>・家でもやってみたい、おうちの人に喜んでもらおうという気持ちを高めるように話す。</p>	
<p>5 教師の評価を聞く。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			

(3) 環境構成

